

地域連携室を開設

当院では従来、患者さんからの問い合わせや相談窓口、あるいは地域との医療連携に関する窓口として、専任の精神保健福祉士が配置された「地域生活支援室」がありました。その一方で、御家族からの相談に対応するための「家族相談室」や、外来、認知症疾患医療センターなどにおいても、さまざまな相談が持ち込まれておりました。

このたび、窓口を一本化することで、相談をする側(患者さんや御家族、地域の医療福祉機関など)からはわかりやすく、相談を受ける側においても手続きやフォローが円滑になることを目指し、『地域連携室』を設置することになりました。

2024年11月11日付で、家族相談室内に併設し、現時点では、診療部長のもと、専従の看護師1名、専任の精神保健福祉士1名で活動を行っております。



千葉病院の新しい窓口として、地域連携室が新たに発足しました。

目的は、新たな入院や退院の支援を行うことや、他病院、他施設との連携を行い、また病院の窓口を一本化し、多様なニーズにこたえることです。

従来の家族相談室、地域生活支援室の仕事を引き継ぎつつ、看護部、社会復帰科、事務の枠組みを超え、各専門知識を生かしながら総合的な対応ができることを目指します。

千葉病院のファーストタッチで関わる顔として、取り組めるように考えています

(診療部長 横山)

地域連携室では、患者さんが安心して日常生活が送れるように地域の医療機関、障害福祉サービス事業所、介護サービス事業所・施設、保健所等と連携を図り、受診、入院から退院までの支援を行います。

また、相談窓口として初診予約から通院・入院・退院後の生活継続支援、家族相談まで様々な相談に対応します。療養生活、社会復帰などに関する悩み、困りごとなど個別性を重視した対応に努め、そして、スムーズかつ切れ目のない支援につなげていきたいと思っております。

地域のニーズに対応しながら、外来・病棟との連携に務めていきますので、よろしく願いいたします

(地域連携室主任 山本)

今回は、双極症の診断がついた場合に気を付ける事についてお話しします。

まずは定期受診をし、内服を続けることが重要です。症状が治り寛解期に入っても、服薬中断により再発してしまうからです。抑うつエピソードと躁、軽躁エピソードでそれぞれあった薬を内服することに加え、自身がどの時期にあるのかを家族、担当医と共にモニタリングしながら下記の通り治療の原則を守ることが重要です。

抑うつエピソードの時

可能な限りストレスを避け、自殺を予防することが必要です。「元気になる」と焦らず、「気持ちが楽になる」ことをまずは目指します。症状が重い場合には、普段の活動を離れて家でゆっくり休んだり、入院することも必要です。何とか日常生活ができる程度の軽度の症状の場合には、100%を目指さず、無理をせずにご過ごすことも大切です。また、同じストレスにさらされても柔軟に考えたり、うまくやりすごしたりできるように、認知行動療法の考え方を身につけると、抑うつエピソードを乗り切るために大きな力となります。

躁エピソードの時

ほとんどの場合、入院して薬で気持ちを穏やかにすることが必要です。放っておくと、怪我をしてしまったり、他人を傷つけてしまったり、社会的に信用を失ったり、浪費してしまうなど、患者さんや家族が多くのことを失ってしまう可能性があります。

軽躁エピソードの時

患者さんや家族も、あまり困っていないのが一般的ですが、軽躁エピソード、抑うつエピソードを何度も繰り返すようになったり、躁エピソードが出現したりすることもあるため、治療をうけたほうがよいです。

寛解期

再発予防のために薬を服用し続けます。どのくらいの間服用すべきかという点は、その人によって違います。

最近の研究から、例えば2種類(気分安定薬と抗精神病薬)で安定していた患者さんで抗精神病薬を止めた場合、両方飲み続けた人よりわずか1か月で再発率に差が出るわかりました。こうした研究結果もふまえて、担当医とよく相談することが大切ですが、双極症 型で躁、抑うつエピソードを数回繰り返した場合は、再発予防治療を長期間にわたって続けるのが一般的です。

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

診療科
精神科・神経科・神経内科・心療内科・歯科（要予約）
院長
小松 尚也
外来診療時間
平日9:00～16:00（月曜日のみ9:30～16:00）
土曜日9:00～16:00（午後は予約制）
休日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL：047-466-2176 FAX：047-466-7503
ホームページ：//www.dchp2176.com
千葉県認知症疾患医療センター
TEL：047-496-2255 FAX：047-496-2256



千葉病院 患者様の権利

個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
個人情報保護は保護されます。

